



「つながり力」で育ち合う和歌山市～協働アドバイザー募集～

最近の行政機関は、NPO やボランティア団体等の市民活動団体のほか、民間企業等とも積極的な連携・協働を掲げるようになっており、和歌山県内でも多くの自治体の総合計画等で、行政と民間の「協働」が謳われています。和歌山市では 2009 年に「協働推進計画」を策定したほか、昨年 3 月に策定された「第 5 次和歌山市長期総合計画」にも「協働」の文字がみられます。そんな協働を進めるためにアドバイザーを募集することになりました。

和歌山市協働推進委員会 協働推進計画の策定 (3年毎に見直し)

協働の担い手づくり

- ①市民公益活動への参加のきっかけづくり
- ②市民公益活動への支援(ソフト・ハード面)

協働できる環境づくり

- ①協働に関する情報発信・情報共有の強化
- ②協働に関する総合窓口の整備
- ③行政内部に協働推進体制を確立

協働の主体

公益活動をおこなう民間団体
NPO 法人・ボランティア団体・自治会・その他公益活動団体
一般・公益社団法人、一般・公益財団法人、社会福祉法人、農業協同組合等の各種組合、医療法人など

民間企業・事業者

行政機関

※第3次和歌山市協働推進計画掲載の概念図を加工

成果や課題をフィードバック

協働アドバイザーは各主体のなかで、協働の実例や、協働につながりそうな事例、様々な地域活動等の情報収集を実施

協働アドバイザー養成講座(全3回)

- 日程 6月28日(木)、7月26日(木)、8月23日(木)のいずれも 14時～16時
- 対象 和歌山市民で地域活動に携わり、原則全日程参加できる方
- 場所 和歌山市 NPO・ボランティアサロン会議室(フォルテワジマ6階)
- 内容 地域における協働について3回にわたる講座を受講後、「協働アドバイザー」として、地域に密着した活動や協働の情報を集める活動をしていただきます。謝礼はありません。
- 締切日 6月21日(木) ●参加費 無料
- 持ち物 筆記用具
- 申し込み 和歌山市市民協働推進課(073-402-1213)
- 備考 金曜・祝祭日は休館日です

みんなでつくる情報板 わかやまイベントボード

●救命講習「普通救命講習」

いざという時のために AED の使用方法等、救命に必要な知識を学んでおきましょう。
日時 6月24日(日) 9:00～12:00
場所 和歌山市消防局3階多目的ホール
参加費 無料(申込み必要)
問い合わせ 和歌山市内の各消防署もしくは和歌山市警防課(073-428-0119)
備考 救命講習は今後もし引き続き開催。上級編もありますので、詳細はお問い合わせください。

●和歌山市吹奏楽団第88回定期演奏会

和歌山市吹奏楽団の春の定期演奏会です。
日時 6月24日(日) 14:00～
場所 和歌山市民会館大ホール
参加費 無料
問い合わせ 和歌山市役所文化振興課(073-435-1194)
備考 和歌山市民文化まつりの一環として開催。

●女性のための行政なんでも相談所

総務大臣に委嘱された行政相談委員が、セクハラ、DV、登記、年金などに関する相談を受け付

けます。秘密厳守。
日時 6月26日(火) 13:30～16:00
場所 和歌山市男女共生推進センター(あいあいセンター)6階和室
参加費 無料(申込みも不要)
問い合わせ 総務省・和歌山行政監視行政相談センター(073-431-8221)
●男女共同参画週間特別公開セミナー「女性が活躍できる社会—行動経済学で考える」
職場の男女間格差の現状を踏まえ、その解消策となる柔軟な働き方などについて取り上げます。
日時 6月28日(木) 19:00～20:30
場所 和歌山ビッグ愛1階大ホール
講師 大竹文雄さん(大阪大学教授)
定員 150人(申込み必要)
参加費 無料
申し込み・問い合わせ 和歌山県男女共同参画センター「りいぶる」(073-435-5245)
備考 一時保育・手話通訳・要約筆記を希望される場合は6月19日までにお知らせください。

また、和歌山市内では様々な公益活動が展開されていますが、行政との信頼関係に基づき継続的に連携・協働がなされている事業も少なくありません。しかし、人口減少が見込まれるなかで、より若い世代の担い手づくりの必要性が高まっています。また、実は行政と民間の協働となっているのだけれども、それに気づいていない、あるいは知らない間に「協働」の枠組みができてきたという事例も、こうしたみなさんに「協働」の認識を高めていただき、和歌山市が準備している様々なツールを利用することでより効果を高めることも期待できます。こうした環境づくりも必要とみられます。

行政にも市民にも「アドバイザー」を！
現在和歌山市では行政内部だけではなく、市民のみならずのなかから「協働アドバイザー」として活躍いただける方を募集しています。市民側からみると、地域にある様々な課題を、単に行政に陳情・要請をして解決を図るのではなく、市民・地域としての役割、行政の役割を整理し、市民と行政がお互いに手をとり合って課題解決を図ることを目指します。

これまでの「わかやま」でもご紹介していますが、高度成長期に整備された公共施設やインフラが一斉に老朽化し始めるなど、現行の公共施設の維持・管理自体が大きな課題となる恐れがあるほか、人口減少や高齢者の一人暮らしの急増、社会保障施策の改変など、地域を取り巻く環境が大幅に変わってきています。「行政におんぶにだっこ」ではない、まちづくりを進めるためには、是非、アドバイザーとしてご参加ください。(志場久起)

また、「協働アドバイザー」と「協働できる環境づくり」の2つの大きな柱を設定しています。住民による非営利かつ公益的な活動は、様々な主体が展開しています。NPOやボランティア団体だけではなく、自治会を中心としたいわゆる「地縁組織」でも数多く展開されています。これら3つの主体を市民側の協働の主な担い手と仮定。地域課題を把握し、行政との協働により解決に導くことを目指す「協働アドバイザー」の育成を図ります。

もちろん和歌山市行政内部でも「協働推進職員制度」の充実などを通じて、住民等との連携・協働がより進み、高い効果が得られるよう取り組みが進められることになっていきます。

また、「協働アドバイザー」として活躍いただける方を募集しています。市民側からみると、地域にある様々な課題を、単に行政に陳情・要請をして解決を図るのではなく、市民・地域としての役割、行政の役割を整理し、市民と行政がお互いに手をとり合って課題解決を図ることを目指します。

みんなで守ろう！日本の希少生物種と自然環境

SAVE JAPAN ケン先生と行く！ プロジェクト 2017-2018 和歌の浦自然体験ツアー

参加者募集のご案内

和歌浦の干潟は、関西でもっとも広い干潟といわれています。とてもめずらしい生物がたくさん暮らしている、貴重な環境です。実はこの干潟は、500年以上前の大洪水や大津波によってつくられたといわれています。いまわたしたちが貴重な生きものをたくさん観察できるのは、昔の大きな災害によって地形が変わったことも原因のひとつなのです。
今回は、貴重な生物を観察したあと、わたしたちの生活と生きものが暮らす環境、そして災害について学びます。



- ◆開催日 7月14日(土) 10:00～16:00(荒天中止)
- ◆集合 和歌浦干潟(観海閣付近)
- ◆参加費 無料ですが、昼食は各自ご準備ください。

本事業専用駐車場はございませんので近隣の有料駐車場をご利用下さい。アートキューブの駐車場は午後のみご利用いただけます。小学生以下のお子さんは保護者の方と一緒にご参加下さい。大人のみ参加も可能です。

- ◆内容
午前 和歌浦干潟で生きもの観察
和歌浦干潟には「ハクセンシオマネキ」や「トビハゼ」など珍しい生きものがたくさん！探してみよう。
- 午後 和歌の浦アートキューブでワークショップ
貝殻など自然にあるものを使った工作、新聞紙スリッパづくりなど大きな災害が起こった時に役に立つ工作、地震体験など、自然と災害について学びます。

14日雨天時は午前中のプログラムを7月15日同時刻に延期し、14日13時から、和歌の浦アートキューブでのワークショップを開催します。

- ◆お申込み
ウェブサイトからお申し込みください <http://savejapan-pj.net/>
※「SAVE JAPAN プロジェクト」で検索ください。「イベントを探す」→「関西」→「和歌山県」から申し込みページへリンクしています。必要事項を記載の上、お申し込みください。
※いただいた個人情報は傷害保険付与と本事業に関する諸連絡等の用途にのみ利用します。

- ◆SAVE JAPAN プロジェクトとは
「SAVE JAPAN プロジェクト」とは全国各地の「いきものが住みやすい環境づくり」を行うプロジェクト。環境NPOやNPO支援センター、日本NPOセンター、損保ジャパン日本興亜が協働で、市民参加型の体験イベントを開催します。イベントのご案内や、開催報告などをサイト(<http://savejapan-pj.net/>)に掲載していますので、ぜひご覧ください。
本プロジェクトは損保ジャパン日本興亜からの寄付で実施しています。自動車保険等のお客さまに、ご契約時「Web証券」や「Web約款」を選択いただいた場合や、自動車事故の修理時にリサイクル部品などを活用いただくことにより、環境NPOなどへ寄付を行うものです。

- ◆主催
わかやま NPO センター、特定非営利活動法人と自然とまちづくりと
お問い合わせはわかやま NPO センター (info@wnc.jp) までお願いします。